

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	12-100	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>A national service evaluation of the impact of alcohol on admissions to Scottish intensive care units.</p> <p>スコットランドの ICU への入院に対するアルコールの影響の全国評価</p>		
執筆者		
Geary T, O'Brien P, Ramsay S, Cook B; Scottish Intensive Care Trainees' Audit Share Group.		
掲載誌		
Anaesthesia. 2012 Oct;67(10):1132-7.		
キーワード		
スコットランド、ICU 入院、アルコール関連疾患		
要 旨		
<p>背景： アルコール関連疾患は重症疾患患者の転帰に悪影響を与える。スコットランドにおいて、アルコール関連死亡は 10 万人中 63.1 人と特に高く、これはイギリスのどこよりも高い。飲酒の ICU 入院への影響を評価している先行研究 (単施設研究やデータベースのレビュー) はあるが、スコットランドのものと比較できるような集団ではない。</p> <p>目的： スコットランドの ICU に入院したすべての患者における初の全国前向き観察研究を行い、アルコール関連疾患が関与した ICU 入院の割合を評価し、その影響を明らかにすること。</p> <p>方法： この評価は、500 万人対象の Scottish National Health Service において行われた。調査は 2009 年 10 月 1 日 0 時から 2009 年 10 月 31 日 24 時までの 1 ヶ月間にわたって行われ、スコットランド ICU 入院それぞれが ICD-10 に基づいて予め決めた定義によって直接的あるいは間接的なアルコールの関連を前向きにスクリーニングされた。得られたアウトカムデータには呼吸器装着日数、ICU 滞在日数、ICU 死亡および院内死亡が含まれた。</p> <p>結果： 771 名の入院患者のうち、642 名 (83.3%) が予定外の入院であり、196 名 (25.4%) がアルコールと関連していた。アルコール関連入院グループで男性の割合が有意に高く (アルコール関連入院グループで 140 名 (71.4%)、アルコール非関連グループで 291 名 (50.6%))。このグループはまた、アルコール非関連グループで 63 (48~73) 歳なのに対して中央値 51 (38~63) 歳と有意に若かった ($p < 0.001$)。アルコール関連グループは、後者が 1 (0~4) 日に対して 2 (1~6) 日と有意に長い呼吸器装着期間であった。貧困地域からの入院は、よりアルコールと関連しているようであった。</p> <p>結論： アルコール関連入院は、年間 890 万ユーロという投入費用でスコットランド ICU の運営に有意な影響を有した。</p>		